

## 江戸小説を読む 1・2

曲亭馬琴『南総里見八犬伝』

## 火2 高木元先生

キーワード: 近世文学 江戸時代小説 読本(よみほん) 曲亭馬琴 伝奇小説 稗史小説  
南総里見八犬伝(八犬伝) 19世紀文学

- 実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- ふみくら【<http://www.fumikura.net/index.php>】

高木先生のホームページ。『南総里見八犬伝』本文テキストデータや放送大学での特別講義などが掲載されています。

- 白龍亭【<http://www.mars.dti.ne.jp/~opaku/>】

八犬伝の入門篇からマニアックな資料まで、さまざまな情報を集めたサイトです。

- JapanKnowledge 【学内限定】

「日本大百科全書」「日本人名大辞典」などの辞書・事典をまとめて検索できるデータベースです。「日本大百科全書」の検索結果では、関連する項目・サイト、参考文献なども紹介しています。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

のついている図書は、授業期間中(4月～8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

- 『南総里見八犬伝(全12巻)』曲亭馬琴作; 濱田啓介校訂 新潮社 2003-2004

本文テキストとしては現時点における最善の資料です。字が大きく、口絵挿絵の図版も鮮明に印刷されています。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『南総里見八犬伝(全10巻)』曲亭馬琴作; 小池藤五郎校訂 岩波書店 1984-1985

各巻に解説・話の筋・主要人物一覧が付いています。1990年刊の岩波文庫版もあります。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

(文庫版)【本館閲覧室4階小型 913.56/KYO】

- 『南総里見八犬伝』曲亭馬琴著; 石川博編 角川書店 2007

八犬伝のエッセンスを文庫本1冊にまとめた八犬伝入門書です。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『南総里見八犬伝名場面集』湯浅佳子編 三弥井書店 2007

八犬伝の名場面を原文と訳文、前後のあらすじを、原作の挿絵とともに読むことができます。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『図解里見八犬伝』犬藤九郎佐宏著 新紀元社 2008

八犬伝の人物・ストーリー・アイテムを111の項目に分け、見開き2ページの図解で解説しています。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『南総里見八犬伝: 滝沢馬琴の伝奇大作を愉しむ』杉浦明平著 世界文化社 2007

「ビジュアル版 日本の古典に親しむ」シリーズの1冊。八犬伝の世界を全ページカラーで紹介。ヒーローと悪役の錦絵で綴る名場面解説なども付いています。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『完本八犬伝の世界』高田衛著 筑摩書房 2005

八犬伝の趣向の緻密さ、考証の厳密さなど、細部に徹底的にこだわり構想全体に目配りを持って論じ尽くした、著者積年の研究の集大成です。

【本館閲覧室4階小型 913.56/KAN】

- 『馬琴の大夢 里見八犬伝の世界』信多純一著 岩波書店 2004

図版を多く使い、八犬伝の作品世界を精緻に読み解いています。

【本館閲覧室4階 913.56/TAK】

- 『復興する八犬伝』諏訪春雄, 高田衛編著 勉誠出版 2008

総説・方法・画賛・背景の4章から成り、執筆者各人の、多義的・個性的な作品評価への足取りを示しています。

【本館閲覧室4階 913.56/FUK】

- 『特集 曲亭馬琴の遺産(『文学』Vol.5 No.3)』岩波書店 2004

雑誌『文学』の曲亭馬琴の特集号です。論文のほか、「『八犬伝』再読」座談会の様子も掲載されています。

【本館閲覧室4階】

**論文** 関連する論文を読むとそのテーマについて詳しい情報や最近のものを読めば最新情報が得られます。

□ 高木元「八犬伝もの銅版絵本二種：解題と翻刻」『千葉大学人文研究』No.33, pp.61-99, 2004

[本館雑誌閲覧室 04チ] [論文電子版]



□ 高木元「義勇八犬傳：解題と翻刻」『千葉大学人文研究』No.35, pp.195-241, 2006

[本館雑誌閲覧室 04チ] [論文電子版]



上記以外にも、千葉大学学術成果リポジトリCURATORやふみくらで公開されていますので、確認してみましょう。

**雑誌** 雑誌には図書よりも細かいテーマを扱った論文が載っているので、実際に手にとって眺めてみましょう。

□ 『国文学解釈と鑑賞』至文堂 月刊

毎号1特集。国文学に関わる事柄を幅広く特集しています。2009年3月号は近世文学研究が特集されています。

[本館雑誌閲覧室 90コ]

**参考図書(辞書・事典等)** 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

□ 『近世文学研究事典 新版』岡本勝, 雲英末雄 おうふう 2006

江戸期の文学・文化の概容や研究動向を、事項・作品・人物に分けて解説した事典です。

[本館参考 910.25/KIN]

□ 『日本古典文学大事典』大曾根章介 [ほか] 編 明治書院 1998

上代より近世までの日本古典文学を対象として、作者名、書名、作品名、事項など約8,000項目を収録。巻末には日本文学年表、年号一覧、難訓一覧、索引が付いています。

[本館参考 910.2/NIH]

□ 『日本古典文学大辞典(全6巻)』日本古典文学大辞典編集委員会編集 岩波書店 1983-1985

近世末までの国文学全般、国語学、関連分野の研究成果を集成編纂した辞典です。事項、人物、作品、編著等の項目が50音順に約13,000項目収録され、作品、編著の項目では、複製・翻刻が紹介されています

[本館参考 910.3/N77]

---

## 読本ってどんな本？

□ 『読本の世界』横山邦治編 世界思想社 1985

8名の研究者による共著。読本の展開や読本研究の展望など、読本世界の全体像を把握することができます。

[授業資料ナビコーナー]

□ 『読本の研究：江戸と上方と』横山邦治著 風間書房 1974

読本全般の網羅的な整理解題分類という基礎作業を行った研究書です。

[本館閲覧室4階 913.56/Y79]

□ 『近世小説・営為と様式に関する私見』濱田啓介著 京都大学学術出版会 1993

読本も含む"近世小説"と呼ばれる江戸時代の文芸についての論考。「南総里見八犬伝」私見も収録されています。

[本館閲覧室4階 913.5/KIN]

□ 『江戸読本の研究：十九世紀小説様式攷』高木元著 ぺりかん社 1995

江戸読本の形成と展開を作者・板元・読者などが織りなす多面的な関係性を視座に据えてまとめた1冊。内容はふみくらでも公開されています。

[本館閲覧室4階 913.56/EDO]

□ 『読本事典：江戸の伝奇小説』国文学研究資料館, 八戸市立図書館編 笠間書院 2008

八戸南部家が所蔵していた読本を中心に、読本の形成・展開についてわかりやすくまとめています。

[本館閲覧室4階 913.56/YOM]

---

**My Book List & Keywords** 自分で見つけた図書や、実際に使った検索キーワードなどをメモしましょう。

---

---

---

---

---